

ひとり情シスのIです。

今日は、ボーリングデータ読み込み画面の裏の処理を作成しました。

項目の未入力チェック、Borファイル読み込みとExcel書き込みの確認、会社業務番号の埋め込み処理等、細かい処理を実装しました。

The screenshot shows the Spyder Python IDE with a Python script for reading borehole data. The code includes file selection, validation of input fields (company number, borehole name, data file, and column file), and a loop to read multiple files. A dialog box titled 'ボーリングデータ読み込み' (Borehole Data Loading) is shown, displaying the input values for these fields. Below the IDE, an Excel spreadsheet shows the data loaded into columns A through M.

ボーリングデータ読み込み

会社業務番号: 22222
 業務名: (仮称)〇〇株式会社 地盤調査
 データ格納Excelファイル(*.xlsx): D:/Pythonsrc/data.xlsx
 柱状図データファイル(*.bor): (D:/Pythonsrc/borfiles/No1.BOR,)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	連番	会社業務番号	調査名1	調査名2	工事名1	工事名2	孔名	調査位置	緯度	経度	発注機関	調査期間開始	調査期間終了
2	1	12345	(仮称)〇〇@	@	@	No.1	釧路市幸田	42 59	144 2	株式会社	20180302	20180304	
3	2	22222	(仮称)〇〇@	@	@	No.1	釧路市幸田	42 59	144 2	株式会社	20180302	20180304	
4													

ここまで色々やっていると、Excelファイルにデータを直接書き込むのも、複数シート間のデータ突合せや部分的な行の削除とかいろいろ考えると、結構自分で組むのは面倒だったりするので、何かDB使ってSQLで処理して、結果を後でExcelにまとめて書き込んだほうが、楽でないかと思ってきました。

今日はこんなところでしょうか。それでは、また明日。(I)